

# 主な内容

香港食品市場の概況

香港の外食・小売業の状況

台湾食品市場の概況

台湾の外食・小売業の状況

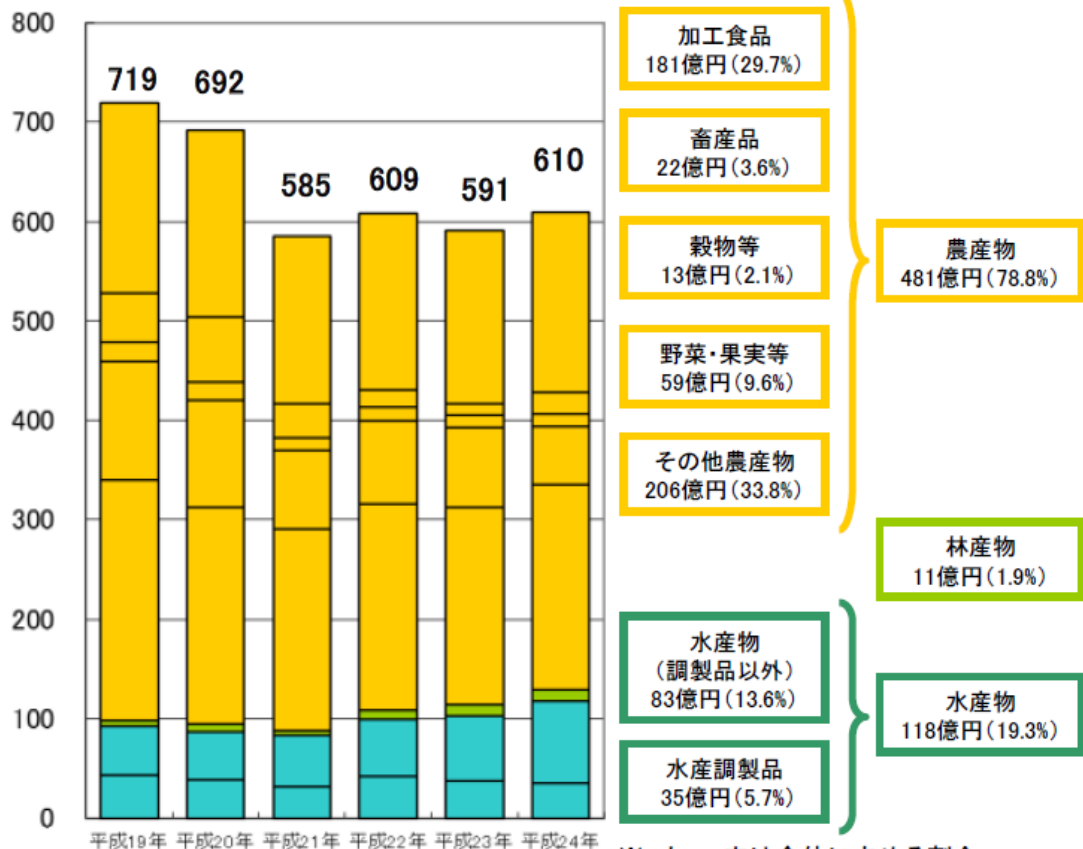


# 台湾向け農林水産物・食品の輸出額の品目別内訳

MAFF

- 台湾向けの農林水産物・食品の輸出額は、610億円（世界第3位、対前年+3.3%）。
- りんご、ながいもなどをはじめとする野菜・果実等が、比較的大きな割合を占める。
- 特に、果実は、高級贈答用から家庭消費向けまで幅広い需要が存在。

（億円）



※ カッコ内は全体に占める割合

台湾向け農林水産物・食品輸出品目上位10位

	2007年 平成19年	2008年 平成20年	2009年 平成21年	2010年 平成22年	2011年 平成23年	2012年 平成24年
1	たばこ 206億円	たばこ 185億円	たばこ 171億円	たばこ 174億円	たばこ 167億円	たばこ 172億円
2	りんご 73億円	りんご 65億円	りんご 47億円	りんご 53億円	りんご 56億円	さんご 41億円
3	豚の皮(原皮) 43億円	豚の皮(原皮) 58億円	ソース混合調味料 32億円	ソース混合調味料 36億円	ソース混合調味料 35億円	ソース混合調味料 35億円
4	ソース混合調味料 30億円	ソース混合調味料 30億円	豚の皮 28億円	アルコール飲料 21億円	さんご 27億円	りんご 27億円
5	アルコール飲料 26億円	菓子(米菓を除く) 24億円	菓子(米菓を除く) 19億円	菓子(米菓を除く) 20億円	アルコール飲料 23億円	アルコール飲料 23億円
6	菓子(米菓を除く) 25億円	アルコール飲料 22億円	アルコール飲料 18億円	さんご 18億円	菓子(米菓を除く) 17億円	菓子(米菓を除く) 16億円
7	ながいも等 16億円	ながいも等 17億円	ながいも等 13億円	貝柱(調製品) 15億円	貝柱(調製品) 12億円	豚の皮(原皮) 15億円
8	貝柱(調製品) 12億円	清涼飲料水 14億円	さんご 13億円	ながいも等 14億円	清涼飲料水 11億円	清涼飲料水 12億円
9	※(注:米・麦・雑穀) 11億円	※(注:米・麦・雑穀) 11億円	貝柱(調製品) 11億円	清涼飲料水 11億円	※(注:米・麦・雑穀) 9億円	ながいも等 11億円
10	うなぎ(活) 10億円	貝柱(調製品) 11億円	清涼飲料水 11億円	※(注:米・麦・雑穀) 11億円	ながいも等 9億円	※(注:米・麦・雑穀) 10億円

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

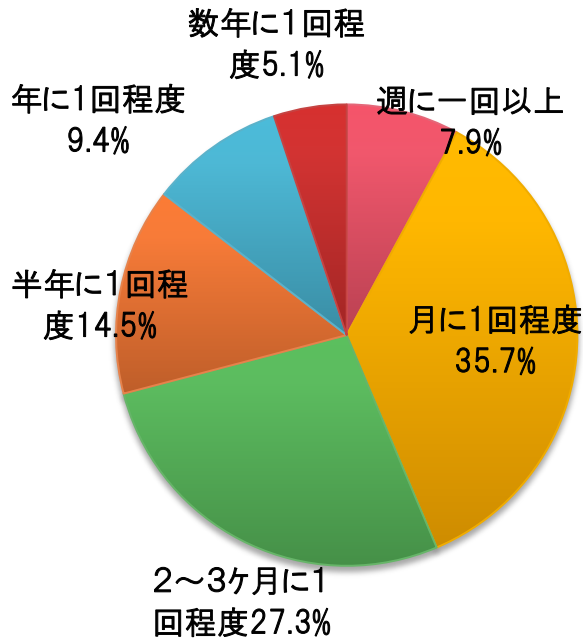
## 日本主要輸出品目 台湾向けトップ20

品目	金額(1,000ドル)		数量		
	2011年	2012年	単位	2011年	2012年
食料輸出合計	439,759	424,274		-	-
ソース混合調味料	44,187	43,326	KG	7,018,439	7,047,503
りんご	70,408	34,006	KG	16,446,427	7,940,553
清涼飲料水等	14,086	14,761	L	6,107,847	6,132,927
ながいも等	11,601	14,215	KG	3,131,240	2,701,470
チョコレート菓子	12,878	12,306	KG	1,062,275	997,486
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	9,971	12,037	KG	442,402	633,847
米菓(あられ・せんべい)	11,798	10,178	KG	970,371	799,852
貝柱(調製)	15,101	9,378	KG	375,756	132,255
さば(冷蔵・冷凍)	3,134	8,363	KG	2,757,022	8,215,060
ビール	6,996	7,905	L	5,617,541	6,510,225
キャンデー類	7,680	7,414	KG	683,279	599,538
練り製品(魚肉ソーセージ等)	7,654	6,798	KG	941,213	769,304
清酒	6,593	6,437	L	1,680,081	1,603,450
小麦粉	4,909	5,628	MT	8,889	9,171
乾こんぶ	4,950	5,474	KG	267,856	273,917
インスタントコーヒー	5,163	5,334	KG	182,752	221,609
キャビア及びその代用物	3,676	4,448	KG	154,991	181,404
なし	1,648	4,328	KG	223,198	660,043
アイスクリーム等氷菓	2,527	4,005	KG	467,391	750,441
緑茶	2,221	3,454	KG	171,285	262,360

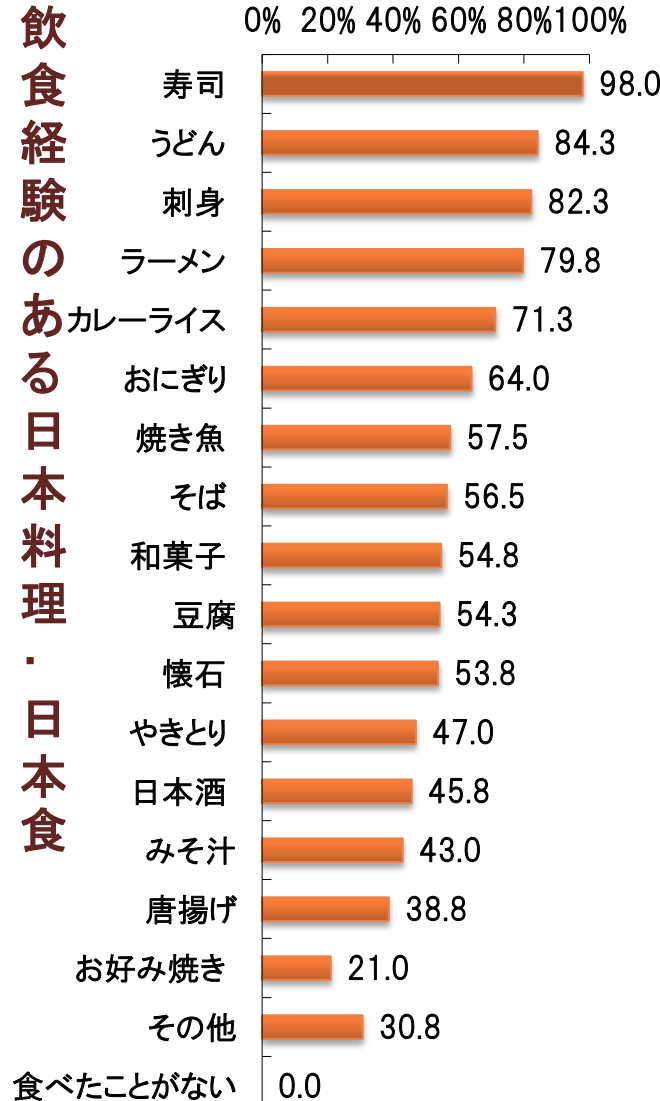
# 台湾消費者の日本食品に対する意識調査報告書

ジェトロ農林水産食品部調査報告2012年3月

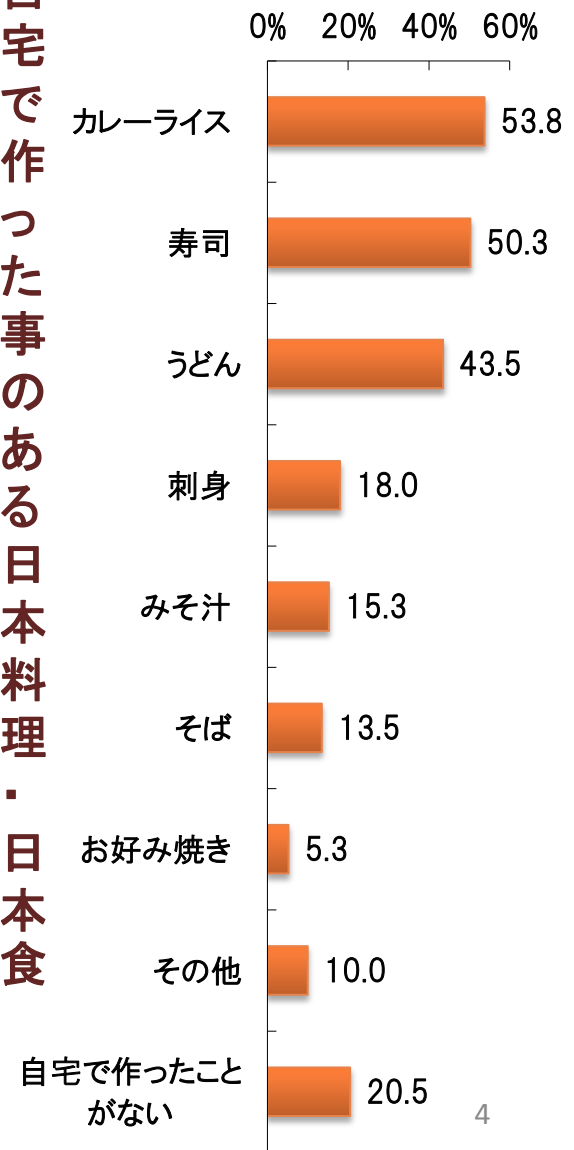
## 日本料理店・日本食レストランの利用頻度



## 飲食経験のある日本料理・日本食



## 自宅で作った事のある日本料理・日本食



# 日本産食品・食材購入時の問題は「価格」

台湾消費者の日本食品に対する意識調査報告書 ジェトロ 農林水産・食品部

## 日本産食品・食材購入時に感じる問題点

「価格が高い」	61.0%
「販売場所が限られている」	42.1%
「使い方がわからない」	33.3%
「材料・成分が解らない」	25.8%

## 日本産食品・食材の購入場所

「地場系スーパー・ハイパー」	85%
「地場系百貨店」	35%
「日系食材店」	22.3%
「外資系スーパー・ハイパー」	21.8%

# 主な内容

香港食品市場の概況

香港の外食・小売業の状況

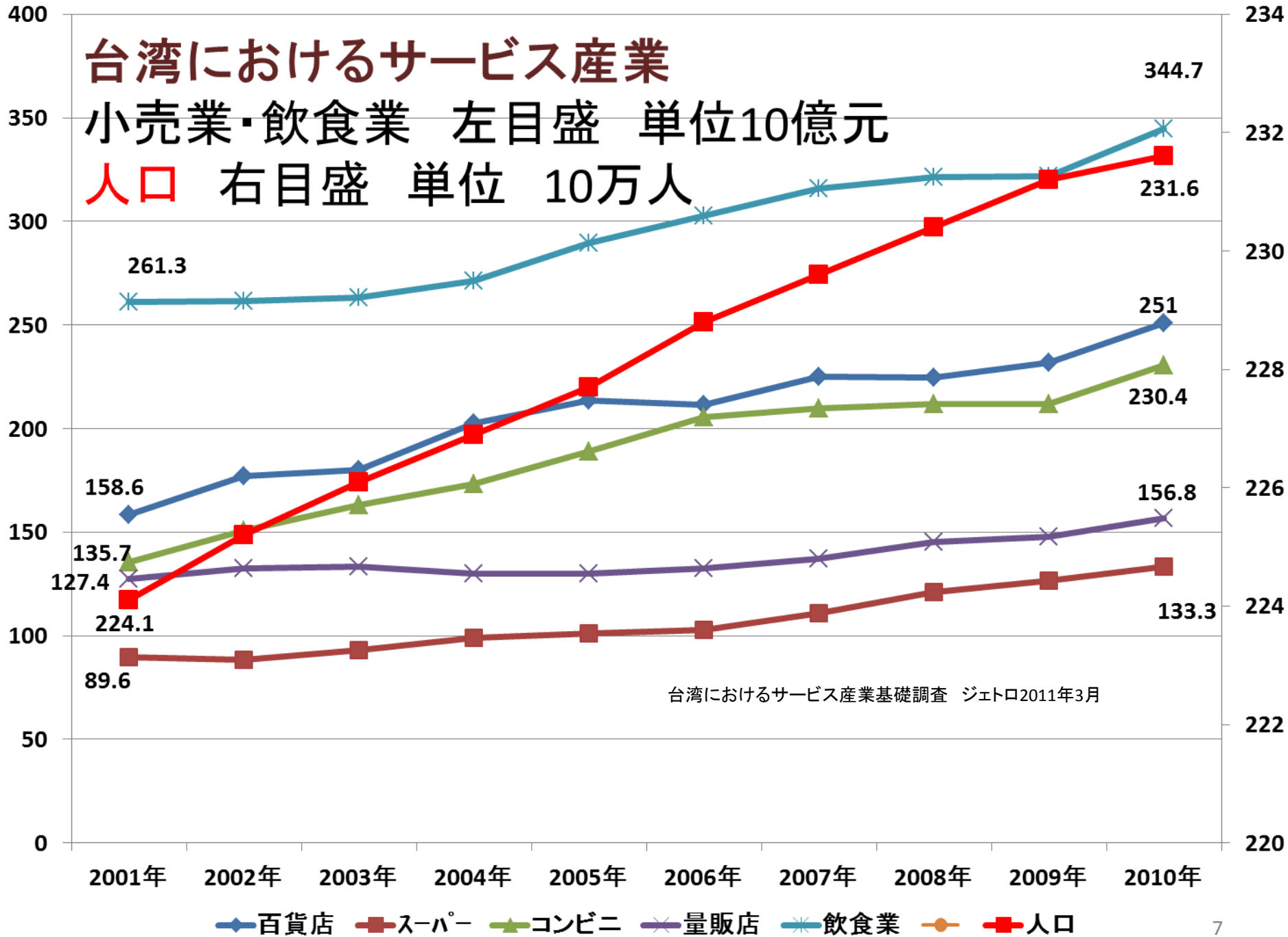
台湾食品市場の概況

台湾の外食・小売業の状況

# 台湾におけるサービス産業

## 小売業・飲食業 左目盛 単位10億元

### 人口 右目盛 単位 10万人

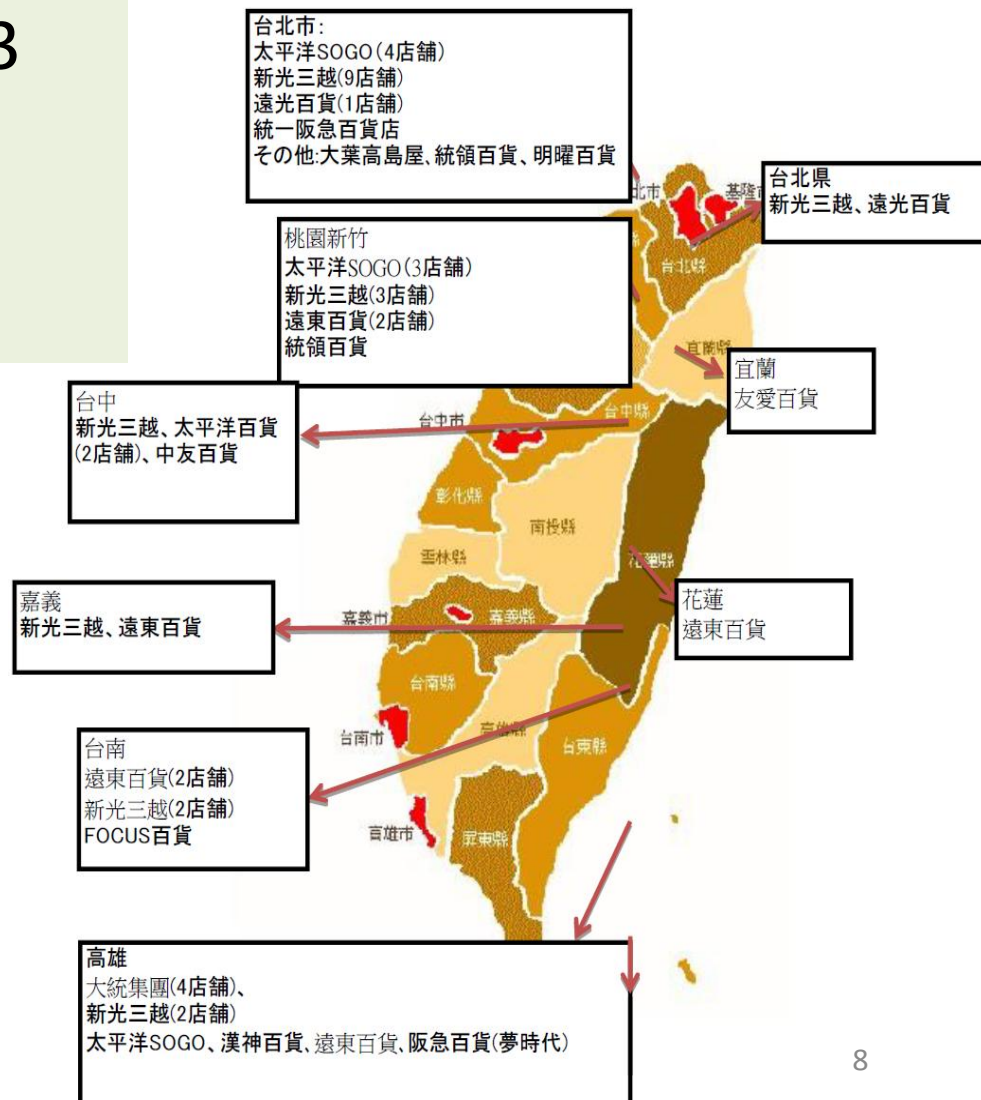


台湾におけるサービス産業基礎調査 ジェトロ2011年3月

# 百貨店 億元 店舗数 09年売上

百貨店	億元	店舗数	09年売上
新光三越	18	18	658
太平洋SOGO	8	8	353
遠東百貨	9	9	223
統一阪急	2	2	79
中友百貨	1	1	73
大葉高島屋	1	1	50

台湾におけるサービス産業基礎調査 2011年3月





# 高級スーパー

City Super(台湾)

6店

微風廣場

13店

Jasons Market Place

7店

裕毛屋(台中・彰化市)

3店

台湾におけるサービス産業基礎調査 2011年3月





# 台湾のスーパー・コンビニ・ハイパー

台湾におけるサービス産業基礎調査 2011年3月

コンビニ	店舗数	スーパー	店舗数	売上億元	量販 ハイパー	店舗数
セブンイレブン	4,750	PX Mart	568	500	カルフル	61
ファミリーマート	2,450	Welcome	303	175	RT Mart	24
ハイライフ	1,240	Matsusei	81	51	Costco	6
サークルK	835	TaiwanFresh	41	37	Geant	17
		Smart	205	260	TSC Taisuco	5



日本式コンビニが受け入れられ味は台湾風だが惣菜・中食が急成長

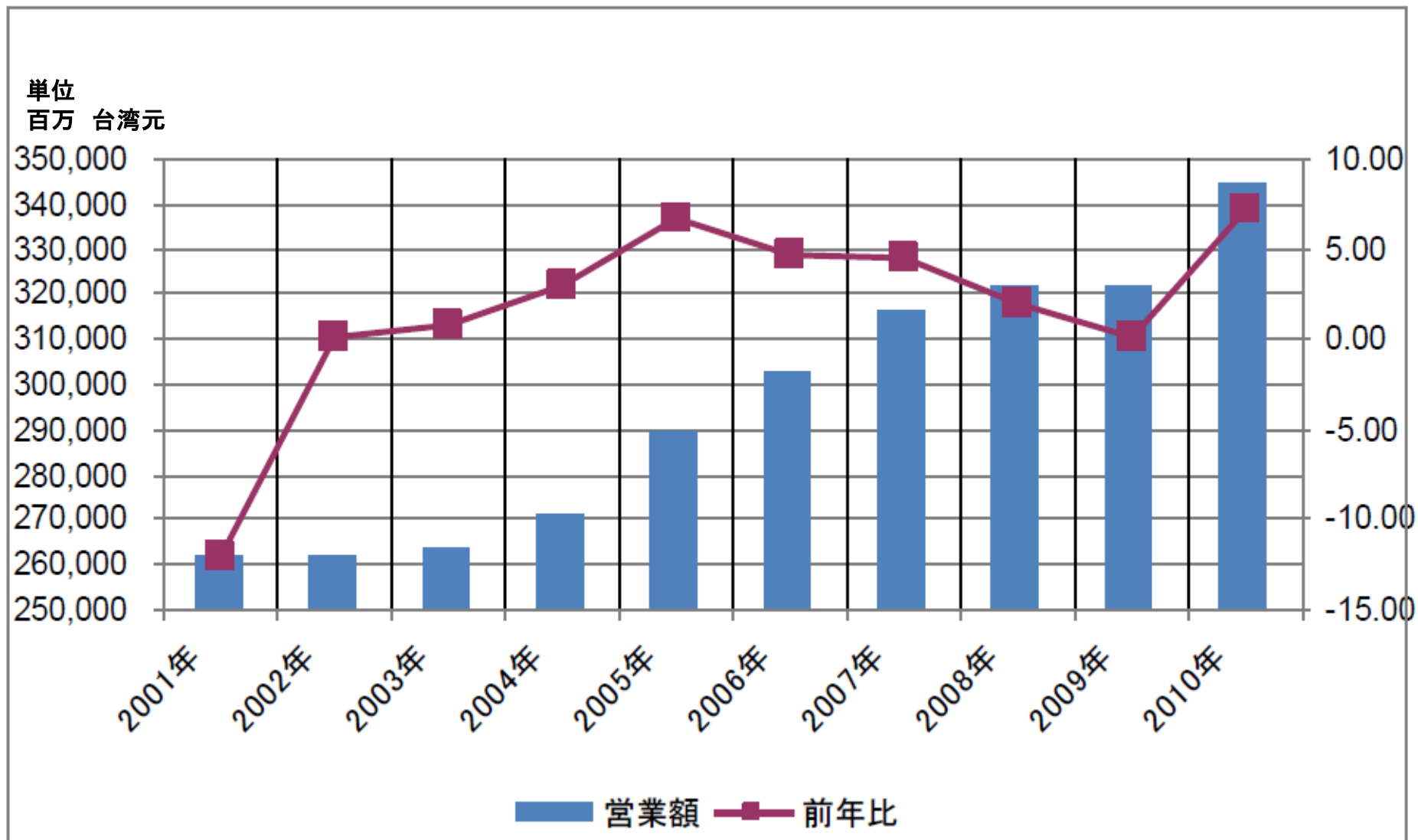


【図表2-1： 外食産業の業態別店舗数の比較および伸長率】

業態	2008年	2009年	店舗数成長		概要
	店舗数	店舗数	伸長数	伸長率 (%)	
ファストフード	15,042	18,152	3,110	20.7	マクドナルド等・朝食専門店 (美而美等)
喫茶・軽食レストラン	1,405	1,626	221	15.7	スターバックス・85°C等の喫 茶および軽食
一般レストラン	2,091	2,546	455	21.8	ファミレス・ステーキハウ ス・鍋料理等
ドリンク屋・アイス店	1,986	2,681	695	35	アイスクリーム店やドリンク 店、テイクアウト主体
レストランチェーン合計	20,524	25,005	4,481	21.8	-

# 台湾における 外食産業売上高推移

台湾におけるサービス産業基礎調査 ジェトロ2011年3月



# 台湾の外食(店舗数)

台湾におけるサービス産業基礎調査 2011年3月

## ファストフード(洋食)

マクドナルド(346)、KFC(140)、TKKフライドチキン(49)、サブウェイ(97)、モスバーガー(183)、ミスタードーナツ(43)

## ファストフード(和食)

吉野家(56)、樂山娘(札幌ラーメン)(5)、争鮮(和)(181)

## ファストフード(朝食)

瑞麟美而美(2915)、麦味登(1603)、巨林美而美(1000)、東方美(950)、早安美芝城(1000)

## レストラン

王品(焼肉)(111)、麻布茶房(43)、スカイーク(34)、ロイヤルホスト(12)、TGI(17)、野宴日式焼肉(46)、定食8(24)、大戸屋(10)

## コーヒー

スタバ(223)、85度C(327)、DanteCoffee(127)、壹珈琲(158)



端午節、中秋節等に贈答用ギフト(蒟蒻ゼリー等)が売れる。1日(朝・昼・晩)3回ピークが有る。  
 現地の味を取入れ、ピーナッツバターのベーコンエッグバーガー等

メニューは台湾人の嗜好や味覚に合わせ調整  
 バジル風味牛肉サンド、牛肉茶漬け等挑戦的メニュー



日本の居酒屋はアルコール売上比率が五割  
 台湾和民はソフトドリンクを含めても1割に満たない



オープン当初は1時間待ち  
 ジェトロ資料より



# 台湾の外食産業の特徴・今後の方向性

ジェトロ資料 台北スタイル 日本食ビジネス特集

- \* 台湾独自の「日式料理」というマーケットが存在する  
台湾で独自の発展を遂げた日本式料理、日本料理よりもあっさり、塩味は薄い
- \* 日本食は数が多くコンセプトの確立等による差別化が必要  
総合日本料理レストランから、とんかつ屋、ラーメン屋等専門レストランへ移行の兆し  
日本ではファミリーレストランが増えた後、それが専門化し、価格帯、好み別に分化。  
台湾も同じ方向
- \* 「高級（高価格）」、「屋台（低価格）」はあるが中間価格帯は十分でない  
スカイラークは台湾で中華料理“バーミヤン”の展開も検討。
- \* 量と価格の商売から質重視の方向に転換しつつある  
リーズナブルな価格でも質を上げる必要性、ビュッフェなどでも料理の質が良ければ集客できる
- \* レストランと中食との垣根が曖昧  
日本式コンビニの普及で惣菜・中食が飛躍的に伸び、レストランのテイクアウトと競合
- \* 朝食マーケットが大きい  
モスバーガーのピーク日本では昼食一つだが、台湾では朝・昼・夜と3回のピークが有る。
- \* セットメニューが好まれる  
デザートマーケットが伸びており、スイーツ等の質も向上している。

# 台湾市場のトレンド

## KEY WORD

- 安心・安全
- 天然食品
- 女性向け
- 健康志向



## 沖縄県 (有)ハマシヨク モズクを台湾、香港へ

沖縄県の特産物であるモズクの機能性に着目し、乾燥モズクその他、モズクに多く含まれ、健康に効果があると言われていたフコイダンパウダー状にして製造した健康食品としても輸出。

【平成24年度輸出実績】 500万円 → 【平成25年度輸出実績】(9月末時点) 2,000万円

### 【イノベーションのポイント】

モズクの冷風乾燥技術を開発し特許を取得。これにより、コシのある食感を残したままの乾燥もずくの製品を実現。



### 【イノベーションの効果】

もずくを生もずくではなく、加工品として販売することで、輸送コストの低減と付加価値の向上に寄与。

### 【今後の展望】

これまでの輸出先に加えて中国へも輸出を拡大する他、インターネット注文による販路の更なる拡大を目指す。また、拡大する需要に対応するため、県内モズクの安定的な確保にも併せて取り組む。

【活用したことのある国、ジェトロの事業等】2011、2012年 フードタイプイ

【HPアドレス】<http://www.kansou-mozuku.co.jp/>

【事業者の連絡先】098-934-1508



輸出している各種の商品



乾燥モズクを水で戻した酢の物

出所:農林水産省

## 沖縄県 (株)オーダック (えのき、しめじをタイ、台湾、シンガポールへ)



タイの現地スーパーでの試食販売

良質な沖縄県産えのき、しめじのタイ、台湾、シンガポールへの輸出を本格化。

	【平成22年度輸出実績】		【平成23年度輸出実績】
タイ	16.5トン		34.4トン
台湾	5.2トン	→	10.2トン
シンガポール	0トン		0.8トン

### 【輸出のきっかけ、販売戦略、工夫した点、苦労した点等】

- ・ 夏場(需要の減少期)のだぶつき解消を目指し、沖縄県外への販路開拓を検討していたところ、ANAが那覇空港をハブとした国際貨物基地事業を展開し、アジア諸国への輸送時間が大幅に削減されたため、国内の他県よりもアジア諸国への輸出に魅力を持ったこと等がきっかけ。
- ・ 戦略として、安価な外国産との価格競争は避け、高品質な日本産をセールスポイントに認知度向上を図ることで徐々に販売を伸ばしている。

### 【輸出によるプラスの効果・メリット等】

- ・ 県内出荷は横ばい状況が続いていたことから、アジア諸国への新たな市場を開拓出来たことで、県内産地の生産拡大が図れる。
- ・ 夏場のだぶつき解消により、1年を通して安定的な出荷が可能となることで生産者の意欲、所得向上が期待される。



高品質な県産しめじ

【ウェブサイト】<http://odac.jp/product/index.htm>